事例No.	3116
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	埼玉県志木市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	事業効率化

事例内容・タイトル

活用促進に向けた自主的な勉強会の拡大

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）④

本格導入 05

主な活用事例 業務支援・情報検索

活用促進に向けた自主的な勉強会の拡大（志木市）

事例のポイント

- 生成AI利用拡大に向けて工夫を凝らした自主的な勉強会を開催している。
- 多くの職員が当たり前に生成AIを活用するよう周知・促進を図り、全庁的な業務効率化につなげる。
- 他自治体への情報発信や情報提供など、横展開を促進する。

- **生成AIの利用状況：**
  複数の生成AI利用サービスでトライアルを実施し、LGWAN上のみで利用可能である「自治体AI zevo」を選定し本格運用を開始している。
- **導入に至った経緯・背景：**
  2023年３月頃から庁内で生成AI利用の機運が高まり、４月末に生成AI利用に関する通知を庁内全体に発出した。2023年７月からLGWAN環境で利用可能なツールでトライアルを開始。2024年４月に生成AI利用に関するガイドラインを策定し、５月から本格運用を開始した。
- **生成AIの活用内容：**
  文章案の作成や要約・校正が最も多く利用されており、その他にも情報検索・調査やアイデア出しなど幅広く業務に活用している。
- **生成AI活用促進の取組：**
  トライアル開始後に利用者が思うように増えず、周知のためChatGPTに関する自主勉強会を実施した。勉強会は他自治体の資料を参考に志木市に合わせて内容を修正したほか、楽しんで興味を持って取り組んでもらえるよう、グループワークの実施内容を工夫している。また生成AIの活用に関する庁内広報として「ChatGPTかわら版」を発行し周知を図っている。

生成AI勉強会の様子



出所）「ジチタイワークスWEB（https://jichitai.works/article/details/2303）」

- **導入による業務改善効果：**
  トライアル実施についてアンケート調査を実施したところ、トライアル参加者の84%が「業務効率が向上する」と回答している。アイデア出しなどは１日かかるようなものが１時間未満でできあがるなどの意見もあり、時間短縮効果があると実感している。
- **導入における課題：**
  ・デジタル推進課が把握不可能なところで職員が業務に活用する懸念があった。個人情報漏洩防止の観点でまず４点のルール（※）を定めて周知し、その後本格運用の際にはガイドラインを策定した。
  ・現在はLGWAN上のみでしか利用できないサービスを利用しているが、今後インターネット経由で利用することになった際にはガイドラインの修正やセキュリティ対策の検討が必要となる。
  （※４点のルール参照：https://jichitai.works/article/details/2303）
- **今後の生成AI利用の展望：**
  ・これまでは時間外の自主的な勉強会開催により周知・利用促進の取組を進めてきたが、今後は勤務時間内の開催など研修の充実を図る。
  ・回答の精度を高めるため生成AIとの「壁打ち」を推奨するなど、生成AIとの対話方法に関するテクニックの共有を行い、利用方法のレベルアップを図る。

スケジュール

- 2023年　4月：利用に関して全庁的にルールを周知
- 2023年　7月：トライアル開始
- 2024年　4月：ガイドライン策定
- 2024年　5月：本格運用開始